



MESSAGE NOTES

人間関係における知恵

ヤコブの手紙 3:17-18

ブラウン・ジェームズ

1. 平和をつくる

ヤコブの手紙 3 章:17-18 節

しかし、上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、あわれみと良い実に満ち、偏見がなく、偽善もありません。義の実を結ばせる種は、平和をつくる人々によって平和のうちに蒔かれるのです。

人間関係に問題が生じたとき、私たちには2つの選択肢があります。解決に焦点を当てるか、和解に焦点を当てるかです。解決とは、その関係のすべての問題を解決しようとすることです。和解は、平和を維持し、その関係を改善することに焦点を当てます。賢明な人は、解決よりも和解に重点を置きます。

2. あやまちを赦す

箴言 19 章 11 節

人に賢明さがあれば、怒りを遅くする。その人の栄誉は、背きを見過ごすことにある。

知恵は私たちを忍耐強くし、人の^{あやま}過ち、^{そむ}背きをゆるす力を与えてくださいます。これは、その過ちを犯した人のためというよりも、私たち自身のためなのです。神様は完全に正義であり、公平です。そしてあらゆる状況において、絶対的に支配しておられます。ですから私たちは裁きを神様に委ね、他の人を愛し赦すことだけに集中することができるのです。

3. アドバイスを聞く

箴言 15 章 22 節

よく相談しなければ、計画は倒れる。多くの助言者によって、それは成功する。

神様が私たちに語りかけてくださる主な方法の一つは、「他の人を通して」です。同じ状況でも、人によって見方は異なります。賢明な決断を下すには、まずそれらの異なる意見に耳を傾けることです。知恵とは、自分がどう感じようと、正しい決断ができることです。